

# 令和2年白老町議会人口減少に対応する政策研究会会議録

令和2年10月14日（水曜日）

開 会 午前10時00分

閉 会 午前11時56分

---

## ○会議に付した事件

協議事項

1. データ研究「外国人在日活動について」
  2. 政策研究会講演会について
  3. その他
- 

## ○出席委員（7名）

座 長	大 淵 紀 夫 君	副 座 長	佐 藤 雄 大 君
委 員	氏 家 裕 治 君	委 員	久 保 一 美 君
委 員	長谷川 かおり 君	委 員	貳 又 聖 規 君
委 員	森 哲 也 君		

---

## ○欠席委員（1名）

委 員 西 田 祐 子 君

---

## ○職務のため出席した事務局職員

事 務 局 長	高 橋 裕 明 君
主 査	小野寺 修 男 君
主 任	村 上 さやか 君

## 人口減少に対応する政策研究会（第7回）

### 【調査事項】

事務調査：人口減少に対応する政策研究について

#### 1. データ研究「外国人在日活動について」

- 小野寺主査 技能実習生の活動について確認をしたところ、イベント参加は可能で、事前申請は不要である。ただし、金銭の受取りはできない。町内会活動への参加は任意である。
- 佐藤副座長 技能実習制度移行対象職種・作業一覧によると、白老では、1. 農業関係及び4. 食品製造関係での実習生がいると思うが、ほかにはあるか。
- 小野寺主査 建設関係でフィリピンから来日している人がいる。
- 大淵座長 介護関係の人材は不足していると思われる。なぜ、介護関係は一覧に入っていないのか。在留資格調査については、技能実習生を受け入れている町内企業との話ができるか。このような分野は役場の担当課の意識づけが必要である。基本は日本人だけで足りない人材・労働力を外国人により補うためのものである。
- 高橋局長 技能実習生が在日中に結婚することについては特に問題がない。これらを深掘りすることで、現状や課題を把握し、検討の発展へつなげる必要がある。

#### 2. 政策研究会講演会について

(1) 今後の研究会の進め方について、講演会の開催（10月28日（水）15:00、アイヌ財団今井専務、遠藤課長）

- 高橋局長 全員が講演会・懇親会に出席でよろしいか。（一同：よろしい。）※後日西田委員も出席可で確認。
- 大淵座長 司会は佐藤副座長で、質疑応答は60分ある。各委員は質問の準備をお願いしたい。委員以外の議員の意見の状況を見て、委員から出してもらいたい。

#### 3. その他

(1) アンケート調査 資料2（内容、対象者、期間、分析）

- 大淵座長 アンケート調査の案が作成された。今各自回答をして、改善点等内容の確認をする。
- 久保委員 「白老町の魅力や関心について」のところで、同じ項目が長所にも短所にも入ることがあると分かった。例えば、⑫田舎は回答者により長所にも短所にもなり得る。
- 高橋局長 その部分を考慮して、田舎や都会、行政の受入、など単語で設定し、どちらにも回答できるようにしている。
- 大淵座長 改善点として、「移住・定住で重視すること」の項目を中心に。「白老町に住みたいと思うか」の理由の欄は一番下へ移動する。「情報収集に活用する主な媒体は」の欄は外す。ターゲットは若い年齢層の人たちである。佐藤副座長と森委員とで再調整を行う。ウポポイを訪問する日程は決まっていないが、企業訪問で若手職員にアンケートを行う。

(2) 企業訪問活動（聞き取り調査）

- 貳又委員 アンケート実施のお願いをどのタイミングですべきか。
- 佐藤副座長 10月28日がよいと思う。
- 貳又委員 企業訪問時に若手職員との意見交換ができるか、今井専務に確認したい。
- 大淵座長 企業訪問はウポポイ以外も行うため、他の企業でも意見交換を行うか検討する必要がある。
- 貳又委員 ウポポイのみ意見交換を行うイメージでいる。
- 大淵座長 ウポポイに限り意見交換を行う方向で、28日に今井氏に確認をする。

(3) 地域おこし協力隊との意見交換会

○大淵座長 意見交換会の対象となる隊員は退任者・満了者を含めて14名いる。日程は11月25日の政策研究会でどうかを企画課に確認中である。例年11月の活動報告会について、今年の実施は未定である。当初は協力隊の活動報告会に合わせた開催案であったが、報告会と政策研究会は分けるべきだと考えた。意見交換会は1時間懇談し、その後1時間懇親会という座長案である。活動を終了した人で町内にいる人を呼んでほしいと伝えてある。そのようなことで進めてよろしいか。(一同：よろしい。)